

平成24年度事業計画

財団法人 千葉市教育振興財団

第1 事業活動方針

市民文化の振興に寄与するため、教育、学術及び文化・文化財に関する各種の事業を行うとともに、生涯学習関連施設の管理運営を行う。

千葉市生涯学習センターについては、市民ニーズに基づいた学習活動を総合的に支援していくため、生涯学習情報の収集・提供及び生涯学習相談事業、生涯学習講座・講演会等の開催事業、指導者等養成事業、生涯学習に関する調査及び研究事業、メディア学習事業、生涯学習活動の支援に関する事業及び施設の維持管理業務や施設の貸出等の施設管理業務を行う。

なお、平成23年度より当財団を代表団体として民間企業2社と共同事業体（千葉市教育振興財団グループ）を組織し、千葉市生涯学習センターの管理運営を行っている。

千葉市美術館については、展示事業として「^{しょうはく}蕭白ショック!! ^{そがしょうはく}曾我蕭白と京の画家たち」など各種企画展を6本、所蔵作品展を5本開催する。教育普及事業では、展覧会に関連した講演会や、学芸員・ボランティアによるギャラリー・トーク、ワークショップを企画・実施する。また学校との連携により、小・中学生を対象として行っている鑑賞教育等を行うとともに、昨年度より実施している高校生の入場料無料化を活用して、千葉県内高等学校との連携による教育普及事業に努める。

千葉市民ギャラリー・いなげについては、展示事業として平成23年度に引き続き「世界児童画展」や千葉市芸術文化新人賞受賞者で新進写真家の展覧会「佐藤信太郎写真展」を開催するほか、自主事業としてイラストレーター山口マオ氏による「版画ワークショップ」などを実施する。また、制作室・展示室を芸術・文化活動の拠点及び発表の場として貸し出すほか、歴史的建物の「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」の公開を行う。

埋蔵文化財の発掘調査及び普及事業として、埋蔵文化財発掘調査及び小学校等への出前授業や、収蔵資料を活用した巡回展等による埋蔵文化財保護思想の普及啓発活動を行う。

第2 事業計画の内容

1 千葉市生涯学習センター

(1) 指定管理受託事業

① 生涯学習事業に関する業務

ア 生涯学習に関する情報の収集・提供及び生涯学習相談事業

市民の多種・多様な学習ニーズに対応した生涯学習情報の収集・提供、きめ細やかな生涯学習相談を効果的に行うことにより、市民に適切な学習機会を提供する。

生涯学習に関する情報の提供については、生涯学習広場やまなびネット、千葉市生涯学習情報誌等によって行う。さらに幅広く市民への利用促進が図られるように、ホームページの強化、タウン誌等の情報提供媒体の活用を図る。

生涯学習に関する専門情報については、調査・資料室にある図書資料は生涯学習・社会教育に関する内容であり、関係する大学をはじめとする高等教育機関や公民館などの社会教育機関等の職員に利用しやすいように利用方法の改善を図る。

生涯学習相談については、専門のスタッフ（生涯学習相談員）を配置し、市民の生涯学習に関する相談に対し、きめ細やかな対応を行う。相談者の生涯学習活動がさらに発展していくよう、次なるステップを意識した助言や必要な情報提供を行う。

事業名称等	内容（講座等）
生涯学習に関する案内情報の整備・提供	<p>1 生涯学習情報の収集・整理・提供（生涯学習広場の運営）</p> <p>積極的に最新の生涯学習に関わるポスター・チラシ、パンフレット等の案内情報を収集・整理し、閲覧・掲示・一部は持ち帰り等での提供を行う。提供する案内情報の種類は施設案内、講座案内、イベント案内、大学・大学院社会人入試、公開講座、通信教育、定期刊行物、名簿・サークル一覧、参考資料等。</p> <p>生涯学習広場には学習相談員を配置し、市民からの個別の相談に応じた学習情報提供を行う。</p> <p>2 生涯学習情報提供システム「ちばまなびネット」の運用・管理</p> <p>『ちば市政だより』に掲載される講座・イベント情報を、生涯学習情報としてデータを作成・入力し（毎月1日・15日）公開する。</p> <p>3 普及・啓発事業</p> <p>(1) センター情報紙「講座・イベント情報」の発行</p> <p>年6回発行し、区役所、学校、生涯学習関連施設等へ配布する他、ホームページで閲覧に供する。</p> <p>(2) 生涯学習情報誌「まなびの森」の発行</p> <p>生涯学習に関する情報誌は、年3回発行（7月・11月・3月）し、区役所、学校、生涯学習関連施設等へ配布する他、ホームページで公開する。夏休み前の7月号では、市内小中学校の全児童生徒に配布し、生涯学習への参加を促す。</p>

	<p>(3) 企画展示</p> <p>市民の生涯学習に対する関心を高めるため、講座の紹介や地域の生涯学習の様子、ちば生涯学習ボランティアセンター登録者の活動等をアトリウムガーデンや生涯学習広場等での展示で紹介する。</p>
生涯学習関連図書資料の収集	<p>1 専門情報の収集・整備</p> <p>生涯学習・社会教育に関する図書、刊行物、行政資料、団体の資料、雑誌等を収集・整備し、提供する。</p> <p>2 調査・資料室の運営</p> <p>職員を配置し、資料等の閲覧の受付を行うとともに、市民からの相談等に対応する。また、大学等の高等教育機関に対して図書・資料の貸出を行う。</p> <p>3 蔵書管理システムの運用・管理</p> <p>収集した資料の書誌情報はデータ化して適正に管理するとともに、蔵書データをホームページから検索できるようにする。</p>
生涯学習相談	<p>1 生涯学習相談員による相談の実施</p> <p>(1) 生涯学習相談</p> <p>相談は面談、電話、FAX、ホームページ、メール等から受け付ける。相談内容の記録を蓄積しかつ相談員の間で共有化することによって、複数の相談員で行っている学習相談業務を円滑に進める。</p> <p>(2) ボランティアコーディネーター</p> <p>(3) 生涯学習出前相談</p> <p>2 生涯学習相談員の養成</p> <p>生涯学習に関する専門的な知識・技能に関する研修、他の生涯学習施設の現地研修、相談事例の報告や対応、課題等についての協議等、今後の相談に対し複数の相談員が共通した対応ができるように養成する。</p>

イ 生涯学習に関する講座、講演会等の開催

千葉市の持つ魅力を市民に伝えるため、「ちばカレッジ（千葉市の歴史や文化、地域の特性等を踏まえた学習）」のほか、地域学（ちば学）の推進に取り組み、「千葉市らしさ」のある学習機会の提供をする。

市民一人一人の生涯学習活動への支援及び学習ニーズに応えられるよう、多様なプログラムを展開するとともに、より主体性の高い学習に繋がっていくよう講座・講演会等を開催する。

事業名称等	内 容（講座等）	予定回数
ちばカレッジ	<p>「ちば」に関わる事象を対象に講座を実施する。</p> <p>1 「ちばに生きる」～街・食・祭からのヒント～</p> <p>2 「ちばに学ぶ」～水環境と生活～【新規】</p>	<p>1 0</p> <p>1 0</p>

地域学（ちば学）推進事業	<p>ちばの歴史、文化、産業などについて気軽に学ぶことができるよう学習機会の充実を図る。</p> <p>1 遺跡発表会</p> <p>2 古代の生活にふれる体験教室</p> <p>3 市民向け歴史講座</p> <p>4 市民向け歴史講座（上級編）【新規】</p> <p>5 大人のための社会科見学</p> <p>6 千葉市ものしり検定～ちばのことなら何でも知りたいな～</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>4</p>
現代的課題学習	<p>多様化する社会の動向や市民ニーズを踏まえて、年度ごとに学習プログラム化する講座と、5年間継続して実施するキャリア教育の支援、家庭教育の充実に関する支援、青少年の健全育成の支援などの現代社会が持つ課題に対応した講座を実施する。</p> <p>1 多様化する社会の動向や市民ニーズを踏まえて取り組むテーマ（高齢化社会への対応、環境問題、健康、いのちの学習、震災から学ぶ、科学）</p> <p>2 キャリア教育の支援（大学生のためのキャリアプランニング講座、子どものハローワーク講座）</p> <p>3 家庭教育の充実に関する支援（家庭教育学級【拡充】、わらべうたと絵本の会、親子であそぼう【拡充】、孫育ち講座、児童文学講座、子育て講演会）</p> <p>4 青少年の健全育成の支援（子どもチャレンジ教室、青少年の日フェスタ、子ども読書まつり）</p>	<p>1 5</p> <p>2</p> <p>4 0</p> <p>1 2</p>

ウ 指導者養成事業

生涯学習の推進には「人づくり」（人材養成）が重要であるという認識に立ち、コミュニケーション力、コーディネート力のある人材の育成を図る。多様な市民公益活動に対応した研修を行うとともに、他の事業や情報提供・学習相談とも連携を図ることで、次の活動や実践につながるような支援、研修等を行う。

事業名称等	内 容（講座等）	予定回数
指導者の養成	<p>地域の生涯学習活動を支援するために、市民、生涯学習施設職員等を対象に指導者養成講座を開催する。</p> <p>1 生涯学習指導者研修</p> <p>(1)基礎研修</p> <p>(2)実践研修</p> <p>(3)学校・地域支援者研修</p> <p>2 生涯学習関係職員研修（公民館職員研修）</p> <p>3 生涯学習コーディネーター（地域コーディネーター）の養成</p> <p>4 スタッフ研修</p> <p>5 施設ボランティア担当者研修【新規】</p>	<p>2</p> <p>3</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>1</p> <p>随時</p> <p>1</p>

<p>学習ボランティア活動の支援</p>	<p>当センターをはじめ、市内生涯学習関連施設で活動するボランティアの養成等を行うとともに、施設ボランティア（まなびサポーター）の活動を支援する。</p> <p>1 施設ボランティア（まなびサポーター）養成</p> <p>(1)施設ボランティアの養成研修 5</p> <p>(2)施設ボランティアフォローアップ研修 8</p> <p>(3) まなびサポーター手帳交付式 1</p> <p>2 学習ボランティア活動支援</p> <p>(1)まなびサポーター（デジカメ分野）による「デジカメ相談会」 2 4</p> <p>(2)まなびサポーター（パソコン分野）による「パソコン相談コーナー」 6 0</p> <p>(3)まなびサポーター（講座支援分野）による市民向け講座 4</p> <p>(4)まなびサポーター（映像記録分野）の活動 —</p> <p>(5)まなびサポーター（情報紙作成分野）の活動 —</p> <p>(6)まなびサポーター（上映会分野）の活動 5 7</p>	
<p>ちば生涯学習ボランティアセンターの運営</p>	<p>1 生涯学習ボランティアの登録受付・登録者名簿の作成・配布</p> <p>2 登録ボランティアが編集する「情報紙」発行の支援</p> <p>3 ちば生涯学習ボランティアセンター登録者説明会</p> <p>4 ちば生涯学習ボランティアセンターの普及、利用促進事業</p>	
<p>研修生等の受入れ</p>	<p>教職員の社会体験派遣研修、大学生の社会教育実習、インターンシップ及び中学生の職場体験学習の場を提供する。</p> <p>1 社会体験派遣研修（教職員） 随時</p> <p>2 社会教育実習（大学生） 随時</p> <p>3 インターンシップ（大学生） 随時</p> <p>4 職場体験学習（中学生） 随時</p>	

エ 生涯学習に関する調査及び研究

市民ニーズや時代の要請に対応した生涯学習活動を推進するため、市民を対象にした生涯学習意識調査や現代的課題等についての調査研究を実施する。なお、調査研究結果については、当センターの運営に活用することで市民への適切な生涯学習支援を行う。

事業名称等	内容（講座等）
<p>年間事業報告書の作成・配布</p>	<p>年1回、生涯学習センターの講座等の前年度実績などを掲載した年間事業報告書を作成し、関係機関へ配布する。ホームページに公開し、市民へ情報公開する。作成部数 600部</p>
<p>生涯学習に関する調査研究</p>	<p>市民ニーズや時代の要請に対応した学習活動を推進するための調査研究を行い、市民の生涯学習活動に関する実態を把握し、報告書に関係機関へ配布する。調査研究結果については、ホームページに公開して市民に情報を提供するとともに、次年度の学習プログラムの改善や生涯学習センター事業に役立てる。</p>

オ メディア学習事業

市民ニーズの高いパソコン学習講座、視聴覚事業、映画鑑賞会の開催、マルチメディア体験ブースの運営等を行うとともに、新しい時代の学習活動を積極的に取り入れた学習講座の開設と視聴覚機器やパソコン・A V機器に関する学習機材・教材の運用を行う。

事業名称等	内 容 (講座等)	予定回数
パソコン講座	<p>市民の学習ニーズに対応して、講座の難易度を初級・中級・上級の習熟度別クラスに分けて実施する。</p> <p>1 初級パソコン講座</p> <p>(1) 入門・初心者向け講座 (公民館出前パソコン講座)</p> <p>(2) 子ども向け講座</p> <p>(3) 未就学児・小学生と保護者のための講座</p> <p>2 中級パソコン講座</p> <p>(1) デジタルカメラの講座</p> <p>(2) ワード講座</p> <p>(3) エクセル講座</p> <p>(4) ホームページ作成講座</p> <p>3 上級パソコン講座</p> <p>(1) パワーポイント講座</p> <p>(2) エクセル講座 (応用)</p> <p>(3) ワード講座 (応用)</p> <p>4 デジタルビデオ編集講座</p> <p>5 市民自主企画パソコン講座(公募)</p> <p>6 施設ボランティアによる講座</p>	<p>1 9 3</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>2 0</p> <p>1 6</p> <p>1 6</p> <p>2 0</p> <p>9</p> <p>1 2</p> <p>1 2</p> <p>6</p> <p>4 0</p> <p>1 1 3</p>
視聴覚事業	<p>16mm映画、ビデオ等学習教材を収集・貸出するとともに、操作講習会を実施する。また、所有する名画の上映会を当センターに限らず出前方式で実施する。</p> <p>1 視聴覚ライブラリーの運営 (16mm映画フィルム・ビデオソフト等の教材・機材を学校や地域への貸出)</p> <p>2 視聴覚ライブラリーの収集・管理 (16mm映画フィルム・ビデオソフト等の教材・機材の計画的な収集及び管理)</p> <p>3 16mm映写機操作講習会</p> <p>4 視聴覚ライブラリー等を活用した学習事業の企画・実施</p> <p>(1) 木曜名画座</p> <p>(2) クラシック名画上映会</p> <p>(3) 親子アニメ上映会</p> <p>(4) 夜間上映会</p> <p>(5) 地域交流幼児向け上映会</p> <p>(6) 出前上映会</p>	<p>通年</p> <p>通年</p> <p>1</p> <p>2 4</p> <p>2 4</p> <p>2 4</p> <p>4</p> <p>6</p> <p>5</p>

マルチメディア体験ブースの運営	子どもから高齢者までの誰もが、マルチメディアを体験できる場を提供する。 1 PCブースの提供 インターネットの閲覧 2 AVブースの提供 VHSソフト、DVDソフトの視聴	通年 通年
メディアリテラシーに関する学習	インターネットや携帯電話の適切な利用方法などメディアリテラシーに関する講座を実施する。 1 メディアリテラシーに関する講座	1
情報端末機器の操作等に関する講座	携帯電話等の情報端末機器の機能や操作方法を身につける講座を実施する。 1 情報端末機器の操作講習	1
生涯学習関連施設メディア学習支援事業	メディア学習機会の提供を広域的に推進するため、パソコン講座を開催しようとする公民館に対して必要な機材を貸与する。 貸与する機器 ノートパソコン 11台（受講生用10台+講師用1台） プリンター 1台 他	随時

カ 生涯学習活動の支援に関する事業

市民の自主企画講座への支援、ボランティアによる指導の支援など市民の自主的な活動を支援するとともに、他の生涯学習関係機関や施設で実施していない文化に関する学習機会を提供する。

事業名称等	内容（講座等）	予定回数
市民の学習活動への支援	市民が自主的・主体的に学ぶための支援を行う。また、講座運営のノウハウなどの個別相談にも対応する。 1 市民の自主的学習活動に対する指導・助言・援助 市民自主企画講座（公募） 2 講座運営のサポート体制の整備	36 随時
学習成果の発表の機会の確保	市民の活発な学習活動を自己完結させることなく、更なる学習の発展を図るとともに、他の市民への生涯学習の啓発を図るため、学習成果の発表の場の提供を図る。 1 まなびフェスタの企画・実施（12月8・9日） 2 学習成果の発表の機会の提供 （高等学校演劇発表会、舞台照明講座、高齢者学習発表会、まなびフェスタ音楽祭） 3 鑑賞機会の提供 やすらぎのアトリウムコンサート、けやきコンサート 【拡充】	2 17 8

② 施設管理業務

ア 開館日・開館時間

- 次の休館日を除く通年開館とし、開館時間は午前9時～午後9時とする。
- ・毎月第4月曜日（祝日法の休日にあたるときは、その翌日）
 - ・年末年始（12月29日～1月3日）

イ 施設貸出業務

生涯学習センター各施設及び附属設備の利用受付・貸出を行う。
また、施設の入場・退場に関する手続きを適正に行うとともに、附属設備の利用者に対し、利用方法の説明、指導等のサポートを行う。

（ア）利用カードによる施設予約受付業務

- a 利用カードにより、施設予約やマルチメディア体験ブース利用時の申請が簡略化される。
- b センター施設の予約状況をインターネット上で確認できる。

（イ）減免基準及び減免額

- a 障害者及び障害者団体が使用する場合は、利用料金の50%相当額を減額する。
- b 空き施設の利用効率を高めるため、以下の場合には利用料金の30%相当額を減額する。
 - (a) ホール利用者が利用当日前1か月以内に練習のみに使用する場合
 - (b) ホール、映像音声加工ブース、アナウンスブース、デジタル音楽室を除く空き施設を直前（当日～1週間前）に申し込み使用する場合

ウ 駐車場使用料の徴収・納入業務

駐車場の利用者から、使用料を徴収し、教育委員会の指定する金融機関に翌営業日に納入する。

エ 生涯学習センターホームページの運営

- （ア）ホームページを、月2回程度更新し、施設内容や講座・学習情報等広報活動を行う。
- （イ）ツイッターによる講座イベント情報の発信をする。【新規】

オ その他業務

- （ア）施設利用者の利便性及び安全性に十分配慮した接客等を行う。
- （イ）施設利用促進のため、ホームページの運営をはじめとして施設案内パンフレット、情報紙等による広報活動を、積極的かつ効果的に行う。
- （ウ）各種問い合わせや見学者への対応など、施設利用者の円滑な活動のための必要な支援を行う。
- （エ）新たに従事するスタッフに対しては窓口対応研修を、その他全員のスタッフを含めて随時専門研修を実施する。
- （オ）その他、急病や災害時には、市や医療機関、関係機関と協力し、的確に対応を図る。

③ 維持管理業務

建築物施設保守管理業務、建築設備保守管理業務、清掃業務、警備業務、植栽維持管理業務、敷地内施設維持管理業務、環境衛生管理業務、備品等保守管理業務を行う。

(2) 自主事業

当財団が実施する自主事業は、市民の生涯学習活動に貢献するために、市の生涯学習推進に関する基本方針に沿った講座・イベントの企画・誘致事業等を行う。また、財団が有する各種関係機関や市民・大学等地域の人材とネットワークを最大限活用した事業を実施する。

① 市民の学習ニーズに合わせた講座等の実施

ア 市民ニーズに合わせた講座の開催

市民ニーズの高い講座を実施することにより、市民の学習意欲を喚起するとともに、生涯学習センターの利用促進を図る講座を民間事業者と協力(事業の誘致)して実施する。

事業名称	市民ニーズに合わせた講座の開催
対象	講座による
時期	講座による
回数・時間	講座による (3講座)
定員	講座による
内容	① お父さんのピクニックランチ 1講座 ② お父さんの土曜クッキング 2講座

イ 専門性、特色を活かした市内大学との公開講座

高等教育機関の専門性、特色を活かした市内大学の公開講座を開催し、市内の生涯学習活動を促進するための学習の機会を提供する。

事業名称	専門性、特色を活かした市内大学の公開講座
対象	講座による
時期	講座による
回数・時間	講座による (3講座)
定員	講座による
内容	① 千葉大学との連携講座 ② 淑徳大学との連携講座 他

ウ 埋蔵文化財に関する講座【新規】

市内の遺跡(埋蔵文化財)についての周知を図り、郷土の歴史等についての興味・関心を持たせるための学習の機会を提供する。

事業名称	埋蔵文化財に関する出前講座・講演会
対象	市民
時期	出前講座 (5月、6月、7月、8月) 講演会 (10月、11月、12月、1月)
回数・時間	出前講座 4回 2時間 講演会 4回 2時間

定 員	各回 80人
内 容	出前講座：千葉市の遺跡についての学習機会を提供し、郷土「ちば」の歴史について理解を深める。 講演会：ロビー巡回展にかかる講演会を開催し、市内の遺跡についての周知や保護思想を育む。

エ 生涯学習関連施設メディア学習支援事業

メディア学習機会の提供を広域的に推進するために、パソコン講座を開催しようとする公民館に対して必要な機材を提供する。

事業名称	生涯学習関連施設メディア学習支援
対 象	公民館
時 期	4月～3月
内 容	ノートパソコンほか周辺機器 3セット (1セットの内訳) ノートパソコン 11台 (受講生用10台+講師用1台) プリンター 1台 ほか

② 生涯学習センターをPRするために有効なイベント等の開催

生涯学習センターが市民の生涯学習拠点となるためには、さらに認知度・利用度を高めることが求められており、当センターに足を運ぶきっかけとなるよう、各種イベントを実施することで関心が低い市民に対して、当センターを認知してもらい、関心を持ってもらう機会を提供する。

ア ボランティアフェア

名 称	ボランティアフェア
対 象	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者及び関係機関
時 期	11月～12月
回数・時間	1回 (2週間)
定 員	—
内 容	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者や千葉市内のボランティアに関わる機関等の活動をアトリウムガーデンにおいてパネル展示中心に紹介する。

イ ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による演奏会【新規】

名 称	ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による演奏会
対 象	市民
時 期	未定
回数・時間	1回
定 員	250人
内 容	演奏者4名程度の室内楽 (ミュージアムコンサート) を開催する。

ウ 音楽コンクール等の誘致

名 称	音楽コンクール等の誘致
対 象	講座による
時 期	講座による
回数・時間	講座による
定 員	講座による
内 容	市内を中心に活動している団体の音楽コンクール等

③ 千葉市の生涯学習の発信拠点としての展示等の開催

公的施設、高等教育機関、NPO等の市民団体ごとに提供されていた「ちば」に関する情報を集約し、市民に提供することで、生涯学習の中核的施設としての役割を果たす。

ア 地域学（ちば学）展示

事業名称	地域学（ちば学）展示
対 象	市民
時 期	4月15日～5月16日
回数・時間	1ヶ月
内 容	千葉大学、千葉県立博物館、千葉市立加曽利貝塚博物館、千葉市立郷土博物館、千葉市埋蔵文化財調査センター、千葉商工会議所、千葉市観光協会、NPO法人郷土ちばに学び親しむ会、NPO法人ふるさと文化研究所などと連携して、事業案内、施設案内、学習教材の配布や展示を行い、「ちば」に関する情報を市民に提供する。

イ 千葉公園紹介展示

名 称	千葉公園紹介展示
対 象	市民
時 期	① 4月14日～5月20日、② 9月17日～27日
回数・時間	2回 9時～21時
内 容	千葉公園に関する情報、写真等の展示をし、施設の紹介を行う。 ① 大賀ハス写真展 ②千葉公園のいまむかし展

ウ 遺跡学展示【新規】

名 称	遺跡学展示
対 象	市民
時 期	12月（予定）、2月（予定）
回数・時間	2回 9時～21時
内 容	市内の遺跡等から発掘された埋蔵文化財や、発掘資料等を展示し、市民への周知を行う。

2 千葉市美術館

美術に関する市民の知識の向上を図るとともに、市民に親しまれる美術館を目指し、本年度は、企画展6本・所蔵作品展5本を開催する。また、教育普及事業として学芸員とボランティアスタッフの連携により幅広い事業活動を展開するほか、展覧会開催中における講演会や子ども向け関連イベント等を行い、美術に関心を持つ人々の底辺拡大を図る。その他美術品収集、保存、調査研究事業等もあわせて行う。

(1) 指定管理受託事業

① 展示事業

「^{しょうはく}蕭白ショック!! ^{そがしょうはく}曾我蕭白と京の画家たち」展をはじめとする企画展および市民展（第44回千葉市民美術展覧会）合わせて6本と、美術館所蔵作品展5本の合計11本の展覧会を実施する。

ア [企画展 1]

企画展名	^{しょうはく} 蕭白ショック!! ^{そがしょうはく} 曾我蕭白と京の画家たち
期 間	平成24年4月10日（火）～5月20日（日） 39日間
主 催	千葉市美術館 読売新聞社 美術館連絡協議会
巡 回 先	三重県立美術館
内 容	江戸時代中期の個性的な画家 ^{そがしょうはく} 曾我蕭白（1730～1781）の総合的な展覧会。蕭白前史として蕭白が師事したと思われる画家や同じ復古的な画風の画家を紹介。 ^{まるやまおうきよ} 円山応挙、 ^{いとうじゃくちゆう} 伊藤若冲、 ^{いけのたいが} 池大雅、 ^{よさぶ せん} 与謝蕪村ら同時代の京都の画家の作品も合わせて展示する。

イ [企画展 2]

企画展名	浮世絵師 ^{けいさいえいせん} 溪斎英泉展
期 間	平成24年5月29日（火）～7月8日（日） 38日間
主 催	千葉市美術館 読売新聞 美術館連絡協議会
巡 回 先	なし
内 容	^{けいさいえいせん} 溪斎英泉は、幕末期美人画を代表する浮世絵師である。独特の妖艶な画風は、 ^{ようえん} 歌川派全盛の浮世絵界で、一人対抗するように強い存在感を放っている。千葉市美術館設立のきっかけともなった英泉コレクション（今中コレクション）を中心に、美人画、風景画、 ^{すりもの} 摺物、肉筆画など多方面に渡る英泉の画業を展示する。

ウ [企画展 3]

企画展名	ブラティスラヴァ世界絵本原画展
期 間	平成24年9月8日（土）～10月21日（日） 43日間
主 催	千葉市美術館 読売新聞 美術館連絡協議会
巡 回 先	うらわ美術館 かわら美術館 足利市美術館

内 容	スロヴァキア共和国の首都ブラティスラヴァで2年に一度開催される絵本原画のコンペティションから、第23回展（2011年秋）の受賞作および日本からの参加作品を中心に展覧。また、特集展示として絵本の造形性に焦点を当て、国内の仕掛け絵本を紹介する他、スロヴァキア分離独立20周年を控え、同国で現在活躍しているイラストレーターの作品にも注目する。
-----	--

エ [企画展 4]

企画展名	須田悦弘展
期 間	平成24年10月30日（火）～12月16日（日） 46日間
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	なし
内 容	花や草のリアルな彩色木彫を使って、ユニークなインスタレーションを生み出す作家須田悦弘。本展では、当館の江戸絵画と須田の木彫を組み合わせた新作インスタレーションを展示するとともに、代表作のいくつかを紹介する。首都圏初の大規模な個展。

オ [企画展 5]

企画展名	きもの・ビューティー
期 間	平成25年1月4日（金）～2月11日（月・祝） 37日間
主 催	千葉市美術館 日経新聞社 企画協力：国際アート
巡 回 先	福岡市博物館、奈良県立美術館、島根県立石見美術館、愛知県美術館
内 容	19世紀末、ウィリアム・スタージス・ビゲローがアメリカに持ち帰り、現在ボストン美術館に収蔵されているコレクションを含む江戸時代から近代の着物と、同時代の女性風俗を描いた絵画を合わせて展示し、着物の美しさを探る。

カ [企画展 6] (市民展)

企画展名	第44回千葉市民美術展覧会
期 間	平成25年3月2日（土）～3月22日（金） 20日間
主 催	千葉市美術協会・千葉市文化連盟・千葉市・千葉市美術館
内 容	市民から公募した作品及び千葉市美術協会会員の作品約1,000点を7部門に分けて展示する。

キ 所蔵作品展 I

所蔵作品展名	近代日本の美人画展
期 間	平成24年5月29日（火）～7月8日（日） 39日間
内 容	近代の日本絵画、版画による美人画展。

ク 所蔵作品展 II

所蔵作品展名	夏休み特別企画 美術の中の動物たち
期 間	平成24年7月14日（土）～9月2日（日） 50日間
内 容	江戸時代から現代の美術に見る動物表現の様々を展覧する。

ケ 所蔵作品展Ⅲ

所蔵作品展名	齋藤 ^{よししげ} 義重・1980年以降
期 間	平成24年9月8日(土)～10月21日(日) 43日間
内 容	日本の現代美術の開拓者である齋藤 ^{よししげ} 義重(1904～2001)が後期に制作した代表的な作品のなかから、本館と富山県立近代美術館の作品を中心に紹介する。

コ 所蔵作品展Ⅳ

所蔵作品展名	須田 ^{すだよしひろ} 悦弘の眼 千葉市美術館所蔵江戸絵画選
期 間	平成24年10月30日(火)～12月16日(日) 46日間
内 容	企画展「須田 ^{すだよしひろ} 悦弘展」に合わせ、作家の眼を通して選んだ浮世絵など、江戸絵画を展示する。

サ 所蔵作品展Ⅴ

所蔵作品展名	新収蔵作品展
期 間	平成25年1月4日(土)～2月11日(月・祝) 38日間
内 容	新たに収集された作品を中心に紹介。

* 上記の展覧会名は変更する場合があります。

② 教育普及事業

ア 展覧会関連の各種講座やギャラリー・トークなど

講座等種別	内容	回数
企画展関連の講演会	展覧会の内容に関わる専門の知識を持つ講師を依頼し、講演会を開催。	企画展会期中 1～2回
市民美術講座	スライドを用いながら千葉市美術館のコレクションや展示の内容を分かり易く解説し、所蔵作品展および展覧会への理解を深める講座。	年間10回
ワークショップ(学芸員中心)	教育普及担当の学芸員が中心となって、企画実施するワークショップ。	年間2～3回
ワークショップ (ボランティア中心)	多色摺木版画のワークショップが好評。ボランティアの自主的な活動を尊重しながら実施する。	年間2～3回
ギャラリー・クルーズ	夏休みにふさわしい鑑賞プログラムを組み、子ども達だけの来館を鑑賞リーダー(ボランティア)がサポートする。	夏休みの2日 程度
ギャラリー・トーク	学芸員またはボランティアが展覧会の見所を分かり易く解説しながら、来館者と共に展示室で作品を巡る。	年間70回程度
講師の派遣による講座	市内の学校、公民館など公的施設からの美術講座の依頼に対応し学芸員を派遣、美術の普及に努める。	年間5回程度

イ ボランティアスタッフとの協働

ボランティアスタッフ 28 人（平成 24 年 1 月現在）により、ギャラリー・トークを実施する。引き続き、小・中・特別支援学校鑑賞教育と学校団体鑑賞プログラムにおける鑑賞リーダーや、各種ワークショップへの協力を依頼するほか、千葉市生涯学習センター主催の「まなびフェスタ」への参加や、地域とも連携して美術館へのアクセスを考えるグループの活動も行う。また、自主的な勉強会等を通してボランティアスタッフ全体のスキルアップに努める。

ウ 学校との連携事業

種別	内容
小・中・特別支援学校鑑賞教育	児童生徒が、美術館の借り上げたバスで来館、学芸員やボランティアスタッフの鑑賞リーダーとともに 6～8 人のグループに分かれて展覧会を鑑賞する事業。年間 20 校。（学校の自主的な来館も同様の対応）。
千葉市図工・美術担当教諭 鑑賞一日研修	千葉市教育研究会造形部会と協力し、バスを借り上げ、県内・都内などの近隣の美術館を見学して、美術館での鑑賞教育への理解を深める。
千葉市教育研究会 中学校造形部会 美術館活用グループとの連携	グループメンバーの中学校教職員とともに学芸員が、鑑賞教育等について意見を交換し、授業等での美術館活用案を検討し、実践する。浮世絵データベースの活用方法についても引き続き検討する。
中学生の職場体験学習	美術館を職場体験の場として希望する中学生に対応。将来の美術館サポーターを育てる気持ちで、美術館の仕事の一部を体験させる。
高等学校の利用の促進	高等学校生徒の利用を促進するため、千葉県教育研究会高校美術・工芸部会等を通して教職員への働きかけを行い、授業等での利用を促す。

エ 地域との連携によるアウトリーチプログラム等

種別	内容
千葉アートネットワーク・プロジェクト (通称WiCAN)	市民の芸術文化育成・地域活性化を目的とし、千葉大学や地域 NPO、市内の小中学校等と連携、市内外の芸術家を核に据えて展示やアートイベントを実施。
千葉大学との連携	千葉大学の授業の中で美術館を活用してもらい、学生参加の企画を展示する等の活動を実施。また美術史の授業に学芸員を講師として派遣、受講者のための美術館での見学会も予定する。
県内の美術館・博物館との連携	千葉市美術館は、千葉県博物館協会、近隣美術館会議などにおいても先導的な役割を果たしており、今後も一層県内の美術館、博物館との連携力を強めて、企画や事業に生かす。

オ 博物館実習

大学で博物館学芸員の資格を取得する学生を対象として、博物館実習を実施する。
(年間2グループ延べ24人まで。各グループ延べ6日。)

カ 図書室の管理運営

市民が自ら調査研究することを支援する目的から、美術館図書室にふさわしい図書を中心に充実させるとともに、利用しやすくするよう努める。

③ 収集事業

千葉市と協議・連携し、すぐれた美術品の収集に努め、より充実したコレクションの形成を図る。

④ 保存事業

収集作品の性質・現状を十分考慮し、管理には細心の注意を払い、必要なものに修復を施すとともに、保存・保管に万全を期す。

⑤ 調査研究事業

調査研究の成果について、研究紀要等をはじめとする出版物等をもって公表し、市民へ情報サービスとして提供していく。

⑥ 施設管理事業

ア 施設の利用

市民ギャラリー・講堂・講座室を団体等へ貸し出し、さや堂ホールにおいては、企画展等の関連コンサートなどを開催するほか、貸しホールとしても積極的に活用を図る。また、図書室の市民利用の促進をはかり、美術全般への関心を促す。

(7) 開館日

次の休館日を除く通年開館とする。

- ・毎月第1月曜日（祝日法の休日にあたるときは、その翌日。）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

(4) 開館時間

- ・展示室 午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
- ・市民ギャラリー 午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
- ・さや堂ホール・講座室・講堂
午前10時～午後9時

イ 維持管理業務

建築物保守管理業務、遠方監視業務、設備機器管理業務、備品管理業務等、「千葉市美術館管理運営の基準」に基づく管理業務を実施する。

(2) 自主事業

市民芸術文化の拠点としての美術館の設置目的を果たすため、受託事業を補完する意味での自主事業の企画は、きわめて重要であるとの考えに基づき、美術などの芸術文化に親しんでもらうために、講座等多様なイベントを実施する。

① 友の会運営事業

美術に広く関心を持つ人々の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を目指し、芸術文化の振興に資するため、「千葉市美術館友の会」を運営する。

② イベント・講座

イベント・講座名	内容	回数
友の会バスツアー	美術関連の様々なテーマを設定して、バスツアーを企画、実施し、職員と会員や会員同士の交流を深める。	年1回
講師派遣	市外の公的施設、また民間団体からの依頼に応じて、展覧会や所蔵品等に関わる美術講座の講師を有償で派遣する。	年2～3回

③ 地域連携事業

美術館の認知度を高めるため、千葉市美術館に近接した商店街や他の施設と連携して事業を展開する。

④ 美術館関連商品販売事業

美術館のオリジナルグッズ等を作成し、販売することで収益をあげ、かつ、美術館の魅力を高め、美術の振興に寄与する。

3 千葉市民ギャラリー・いなげ

各種の展覧会を開催するとともに、千葉市における美術を中心とした芸術活動の一拠点として、多くの市民の利用促進を図る。また、歴史的建造物である「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」を広く市民等に公開する。

(1) 指定管理受託事業

① 展示事業

展示事業名	夏の企画展 1部「世界児童画展」2部「創造海岸いなげ展」
期 間	平成24年8月7日(火)～8月19日(日)
内 容	(1部)「世界児童画展」優秀作品の展覧会を開催する。 (2部)地域に密着した市民による展覧会を開催する。

展示事業名	佐藤信太郎写真展
期 間	平成25年1月23日(水)～2月3日(日)
内 容	千葉市芸術文化新人賞受賞者で新進の写真家(稲毛区在住)の展覧会。

② 講習会等

講習会名	夏休み子ども美術講座(2日間)
期 日	平成24年8月4日(土)～8月5日(日)
対 象	地域の小学生3～4年生 20名
内 容	学校ではできない専門的かつユニークな美的体験を提供する。

講習会名	秋休み子ども美術講座(2日間)
期 日	平成24年10月6日(土)～10月7日(日)
対 象	地域の小学校3～6年生 20名
内 容	稲毛あかり祭夜灯の灯籠を作成し、祭りの夜庭園に展示する。

講習会名	春のスケッチ大会
期 日	平成24年5月3日(木・祝日)※小雨決行
対 象	小学生～一般 20名前後
内 容	新緑の陽光に包まれた別荘を描き、完成作品をロビー展示する。

講習会名	秋のスケッチ大会
期 日	平成24年11月10日(土)※小雨決行
対 象	小学生～一般 20名前後
内 容	黒松との調和が美しい秋の別荘を描き、完成作品をロビー展示する。

講習会名	教職員実技講座(3日)
期 日	平成24年7月24日(火)～7月26日(木)
対 象	市内在勤の小中学校図工美術担当教員 10名前後
内 容	次世代の美術に親しむ市民の育成に携わる図工美術担当教員の力量を高める。

③ 施設活用事業

制作室・展示室を美術等の芸術・文化活動の拠点及び発表の場として各種団体等への貸し出しを行う。

ア 開館時間

- ・展示室 午前9時～午後5時15分
- ・制作室 午前9時～午後9時

イ 休館日

- ・月曜日（祝日法の休日にあたる時は、その翌日）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

④ 歴史的建造物公開管理事業

稲毛の歴史・文化の理解や関心を深めるために、国の登録有形文化財で歴史的建物の「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」を広く市民等に公開する。

ア 公開時間

午前9時～午後5時15分

イ 休館日

- ・月曜日（祝日法の休日にあたる時は、その翌日）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

(2) 自主事業

「千葉市民ギャラリー・いなげ」の認知度を高め、多くの市民の利用促進を図るため、隣接の国登録有形文化財「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」と庭園を活用したイベント等を実施する。

① 講座・イベントの開催

事業名	版画ワークショップ
期日	平成24年6月10日（日）
対象	市民一般 30名
内容	イラストレーターの山口マオ氏を招き、木版画のワークショップを行う。

事業名	茶道に親しむ会「親子お茶会」
期日	平成24年7月21日（土）
対象	地域の小学生（小1～小4）の親子 15組
内容	小学生の親子を対象に、日本の伝統文化「茶道」に触れる機会を提供。

事業名	旧神谷伝兵衛稲毛別荘写真撮影会（2日間）
期日	平成24年10月15日（月）・10月22日（月）
対象	市民一般 各日25名 計50名
内容	写真家を講師とし、建物内部、庭園及び外観の撮影方法について学ぶ機会を提供する。

(3) 受託事業

歴史的建造物「千葉市ゆかりの家・いなげ」を公開する。

※公開時間、休館日等は委託条件による。

4 埋蔵文化財の発掘調査及び普及事業

土地の開発等によって失われつつある埋蔵文化財を記録として後世に伝えるため、文化財の適正な保護と効率的な調査を行う。また、巡回展、出前授業等を通して、埋蔵文化財の意義ならびに保護に関する普及啓発活動を行う。

(1) 受託事業

① 埋蔵文化財発掘調査事業

埋蔵文化財発掘調査事業は、埋蔵文化財を記録として保存するため、千葉市教育委員会の指導のもとに発掘調査、整理・報告書刊行を行う。

番号	事業名	委託者	遺跡		調査内容
			名称	種別	
1	市内遺跡再整理事業 (国庫補助事業)	千葉市	市内全域		既報告資料の再整理
2	民間事業				
	(1) 店舗建設に伴う 発掘事業	三菱地所(株)	<small>だいぜんのみなみ</small> 大膳野南貝 塚	旧石器・縄文 時代～現代	発掘 21年7月～23年6 月。17,270 m ² 整理(JV)23年6月～26年 5月(報告書刊行予定)
	(2) 宅地造成に伴う 発掘事業	(有) 開成	<small>たかしなしりかご</small> 高品尻籠遺跡	縄文・古墳時 代	発掘調査及び整理(報告 書刊行) 4,456 m ²

② 文化財普及事業

埋蔵文化財の調査成果と収蔵資料を有効に活用するために、ロビー巡回展・ミニ企画展・パネル展を開催するとともに、学校・公民館等への出前授業を行う。また、公共施設や市民団体の依頼を受けて講座等に職員を派遣する。これらの埋蔵文化財を活用した普及事業を通して、市民の文化財に関する理解を深め、その保護思想を培うことに努める。

ア 埋蔵文化財ロビー巡回展等

(7) 埋蔵文化財ロビー巡回展

- ・開催時期 平成24年10月～平成25年2月
- ・場 所 千葉市ハーモニープラザ・千葉市民ギャラリーいなげ・千葉市美術館・千葉市埋蔵文化財調査センター・千葉市生涯学習センター(予定)
- ・内 容 発掘調査が完了した遺跡及び遺物を通して、市民に広く地域の歴史を理解してもらうため、出土品等の展示を行う。また、展示期間中に講演会を実施する。

(1) ミニ企画展

- ・開催時期 平成24年10月～平成25年1月(予定)
- ・場 所 千葉市民ギャラリーいなげ・千葉市郷土博物館
- ・内 容 昨年実施した「陶器のはじまり - 市内で発掘されたうつわ -」に続き奈良・平安時代の陶器を中心に当時を代表する遺物を展示する。

(ウ) パネル展

- ・開催時期 平成24年7月～平成25年3月（一部期間を予定）
- ・場 所 千葉県生涯学習センター・そごう千葉店他（予定）
- ・内 容 市内の主要な遺跡を、150枚程度の写真・文字パネルで紹介する。

イ 学校・生涯学習関連施設との連携

(7) 出前授業

- 内 容 小・中学校及び公民館等の生涯学習関連施設等に出向き、「講座」や「^{まがたま}勾玉作り」、「火起こし」、「土器などに触れる」、「古代^{くみひも}組紐作り」等の体験学習指導を行う。

(4) 講師派遣事業

- 内 容 公共施設や市民団体の依頼を受けて、自主講座等に職員を講師として派遣する。

ウ 講座の開催

- 内 容 テーマに基づき発掘調査の成果及び研究成果を市民に広く公開することを目的とし、千葉県埋蔵文化財調査センター及び千葉県生涯学習センターで自主講座を開催する。